

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜総合学園高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和5年6月7日(水) 13:30~15:30
- 3 開催場所 岐阜総合学園高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	神谷 政人	(社) 中部地域づくり協会
副会長	熊田ますみ	平成医療短期大学教授
委員	早瀬 雅彦	須賀地区兼須賀東地区自治会長
	長屋 恭一	同窓会会長
	菊池 啓子	中部学院大学短期大学部教授
	徳村 恵子	P T A役員 (副会長)
	岩田 好弘	P T A役員 (副会長)
学校側	片岡 潤子	校長
	宇佐美理恵子	事務部長
	伏見 圭太	教頭
	籠橋美和子	教頭
	福井 恵梨	総合企画部長 (欠席) 代理 水谷智美
	川口 智慎	教務主任
	山田 祐治	生徒指導主事
	柳瀬 智裕	進路指導主事

5 会議の概要 (協議事項)

(1) 令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画

(2) 教務部 基本方針と具体的方策

意見1: 生徒は一人一台タブレット端末を使用しているが、ICTはどのように活用しているのか。

⇒「manaba」というアプリの活用に力を入れており、連絡や、レポート機能を活用した課題提出を行っている。パワーポイントによるプレゼンテーションの作成も行っている。

意見2: 1年生の約50%が、夏の高校見学会に参加したことで本校への入学を決めたとの説明があった。保護者にも本校の魅力をよりしっかりと伝えるため、地域や進路先とも連携して高校見学会を実施するとよい。

⇒昨年度は生徒会が主体となって学校見学会での学校紹介を行い、非常に好評だった。今後地域との連携も検討していきたい。

(3) 生徒指導部 基本方針と具体的方策

意見1：本校生徒の服装やマナーに関しては好印象を持っている。身だしなみ指導の教職員の負担を軽減するために、地域のかやインターンシップを活用し、大人の目を生徒に意識させるとよい。

⇒制服を正しく着こなすことの意味を生徒が理解できることが大切である。生徒会での取り組みも行いたい。

意見2：自転車で、交差点で止まらない生徒や並走している生徒がおり、大変危険で、交通のさまたげになっている。交通安全について、力を入れて指導してほしい。

意見3：周囲を確認せず飛び出す自転車も見る。自動車学校の設備を利用して指導することで、自分たちの自転車運転の危険性やヘルメットの価値に気付かせるとよい。

⇒交通安全についてはこれまでも指摘を受け指導しているが、まだまだ指摘を受けている状況である。今後も指導を継続して行っていく。

意見4：今年度、欠席の生徒が増えている理由は何か。

⇒新型コロナウイルス感染症の5類移行により、昨年度は出席停止扱いだったものが欠席となっている。中学時代から長期欠席だった生徒もいる。高校入学後につまずいて休んでいるケースもある。スクールカウンセラーの活用など生徒によりそった支援をしている。

(4) 進路指導部 基本方針と具体的方策・2022年度の進路状況の分析と課題

意見1：就職の求人が多く、就職状況も非常にすばらしい。高校に入学してからも就職、進学を選べる、ということは本校の大きな魅力である。進学面だけでなく就職についても、もっと外部にPRするとよい。

(5) 総合企画部 新分掌の開設の説明・基本方針と具体的方策

意見1：総合企画部を設立し、生徒の夢を実現できる学校づくりを一番の目標にかかげ、総合学科の魅力を生かした学校づくりを目指しているのは、非常にすばらしい。系列や分掌など校内の連携を大切に、PDCAサイクルにより評価しつつ、2年目、3年目と発展していくことを期待したい。（複数）

(6) 全体を通しての意見

意見1：本校の生徒は、自分の考えを述べることができる学生が多い。最近指示待ち人間が多いと言われるが、今後も主体的な生き方が身につくような指導を行うとよい。

意見2：ふるさと教育をはじめ、地域社会の力を借りての教育を行っていることに感心した。

意見3：どの分掌も、生徒の自主性や主体性を大事にした指導を行っている。これは、生徒を信頼しているからできることである。

意見4：新しいことを行うときは、苦労も多い。働き方改革も行い、教職員には元気で笑顔で働いてほしい。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。

協議においては、多くの質問や意見が得られた。特に、新分掌の開設をはじめとした本校の取り組みについての期待が多く寄せられた。本会議をふまえて学校運営の改善を図り、総合学科の魅力を最大限に生かした学校教育を実践したい。